

# 新建築あいち

## 2026.7月号

新建築愛知支部事務局：株式会社 宮工務店 気付

〒486-0904 春日井市宮町 1-11-25

URL <http://nu-ae.com> ホームページ (2022年4月～)

TEL 0568-34-7775 FAX 0568-34-7797

### ■ 愛知県消費者大会講座 報告

5月10日(日)午後3時から、愛知県消費者大会講座 いざという時のために“命を守る行動”を考えてみよう「防災・減殺～命を守る行動を考える～」が、大学生協東海会館で開催され、約60名参加されました。司会進行は、大学生協の学生代表者で、大学生協の説明があり、今回の講座の企画を説明、その上で、自分がなぜこの活動をしているかを丁寧に説明してから、講師の方の紹介をされました。講師には、名古屋大学 減災連携研究センター特任教授の羽田野拓己さん、新建築愛知支部幹事の壬生伸次さんでした。講座の内容は、地震発生から72時間の過ごし方、避難場所での生活について、自分や周りの人を守るための行動などでした。

最初は、羽田野氏より、「南海トラフ地震に備える～大切な命を守るために～」のお話でした。まずは、「防災とは？」をみんなで考えて、南海トラフ巨大地震対策ワーキンググループ報告書を説明されて、「津波」は、来るかどうかではなく、いつまでに逃げるか。地震などの被害想定は、行動で変えられる。地震、津波、火災、家具転倒などは、対策をすることにより、被害を軽減できる。「自助とは？」他人や公的支援に頼らず、自分の力で自分の命や生活、課題を守り、解決しようとする行動や姿勢です。自宅の危険を知る。大学周辺の避難先を知る。海辺に行く時の逃げ先を意識する。家族との連絡方法を決める。「南海トラフは、知っているだけでは意味がない」大事なものは、防災・自助を自分の生活の中で実践し、いざというときに動ける状態をつくらせておくことである。

壬生氏からは、「家の耐震性を知ろう」住んでいる部屋をイメージしたイラストで、室内の危険を予測する対策を学びました。家具がなぜ振動で倒れるかを模型で重心を知らせて、家具固定の仕方を写真で説明されました。また、地震後のトイレの利用について、非常時のトイレの利用について、透明なビニール袋をトイレに被せて、その上に黒いビニール袋をかぶせる。黒い袋に用を足し、その中に凝固剤を入れて、固める。黒い袋のみ交換をしていく。知っていて、単純で簡単なことだけど、基本に戻り、みんなと確認をして、参加をして、とても勉強になった一日でした。(愛知支部事務局長 甫立)



# ■ 人生後半の住まいと生活資本

## ～居住福祉と生活資本の構築(186)

岡本 祥浩

2026年6月17日(水)の「あさいち」(NHK総合テレビ)で、「人生後半の住まいをどうするのか」という問題を取り上げていた。定年退職、子どもの独立、親の看取りなど生活環境が大きく変わる節目の時期である。人生後半の過ごし方と住まいは不可分である。今の住まいに住み続けるのか、住み替えるのかは、まさに「生活資本」の構築方法の選択である。

### 今の住まいに住み続ける

今の住まいに住み続ける典型的なパターンは、戸建て持家(番組では130㎡や150㎡の大規模な住宅が番組では取り上げられていた)世帯である。大規模な住宅の利点は、子どもが実家と見なして集まってくれる(北陸などの大規模な住宅はこの例)。一方で、多くの家財を片付けられなかったり、普段使用しない部屋が生じたりする。地域との関わりに目を移すと、これまでの近隣住民(友人や知人)、かかりつけ医、日常の買物などは何ら変わりなく継続できる。ただ住宅の立地によっては、車を運転できなくなると生活を支えられなくなる場合も考えられる。

### 新たな住まいに住み替える

新たな住まいに住み替える典型的なパターンは、コンパクトなマンション(50～60㎡程度)に住み替える世帯である。持ち物を生活に必要な家財道具に限定して余分なものを処分する。一方で、新たな生活の軸(趣味など)を設定し、人間関係の構築や生活を支える資源や施設の探索を行う必要がある。そのために新しい生活に相応しい生活を支える資源の整っている居住地を選択しなければならない。

### 生活資本

いずれの選択にしても、これまでとは異なる生活資本の構築が必要である。住み続ける場合には、生活に相応しい住宅に整え(リフォーム)なければならない。多くの場合は、子育てや親の介護に時間を取られ、住んでいる住宅に注意を払う時間がとれていない場合が多いのではないかと。少なくとも人生後半の暮らしを念頭に傷んだ住宅の修復や設備の更新が望まれる。

住み替える場合は、新たな生活プランとそれを支える資源の立地、それらを使いこなせる居住地の選択が基軸となる。ふさわしい居住地を見つけるためには、入念な情報収集と様々な状況における居住地の体験が必要である。

いずれにしても、居住者自身の体力や技能、更には子どもなどの家族関係、そして資金面とのバランスの検討が必要である。「人生後半の住まい」の検討は、天から与えられた「生活資本構築の試験」とも言えるのではないだろうか。

(中京大学教授、新建会員)

# 歴史から見た町名 (十四)

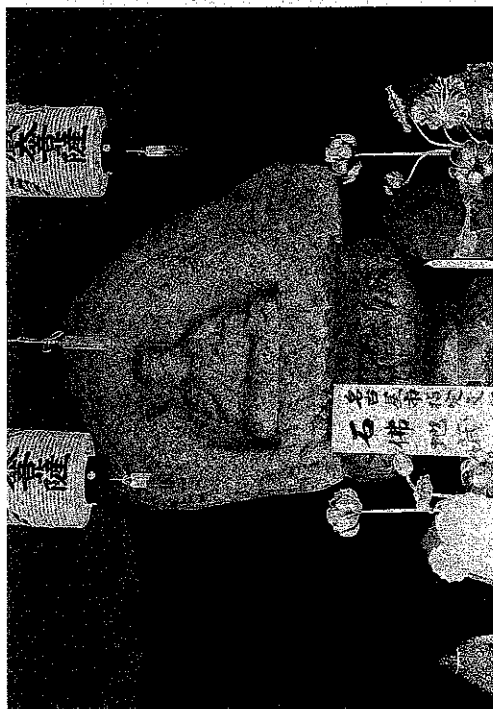
## 大喜町 (だいきちょう)

### (瑞穂区)

大喜町の町名は、江戸時代に存在した大喜村から受け継がれており、現在の下坂町、大喜町、大喜新町、田光町、白鷺町一帯または一部分がそれにあたります。明治の始めまでは愛知県瑞穂村と呼ばれていましたが、大正10年名古屋市の編入、南区瑞穂町となり、昭和19年瑞穂区成立後、翌20年瑞穂町の一部から大喜町が成立しました。この大喜の名の起りについてはいくつか考えられています。①かつて愛知県大毛郷(おおげのさと)と呼ばれたことがあって、大毛が大喜となったという説。②熱田神宮神主、大喜五郎丸がこの辺りに住んでいたからと云う説。③瑞穂運動場整備の際、ここで発掘された須臾器杯に「大金」大

金寺」と書かれていたことからこれが元になっていると云う説。等があります。この地域は、古くから人々が住んでいた所であり、中世には京都と鎌倉を結ぶ、鎌倉街道の通り道にもなっていました。鎌倉街道はおおむね豊津宿(現海部郡甚目寺町)から庄内川を渡り米野村から露橋村、瑞穂区に入り大喜村を経て桜村から古鳴海へと結んでいたとされるものです。大喜町3丁目にある大喜寺には、この近くの鎌倉街道沿いにあつたという市内最古の石仏が残されています。また、通称郡道と呼ばれている東側、豊岡通の北にある天理教東愛教会の敷地南側には、岡本久治が城主であつたとされる大喜東北城がありましたが、今では何も残されておりません。

これらのことから、大喜町は、瑞穂区内でも、中世から名を残す古い地名であることがわかります。



大喜寺の石仏



大正10年名古屋市の編入時の大喜町の区域です。地図上方に第5中学校(現瑞穂ヶ丘中学校)の記入もあります。

## ■ 新建愛知支部 2026年5月 支部幹事会だより

5月18日(水) 19:00~21:00 (オンライン)

参加者/入谷、奥野、河合、中森、福田、甫立、壬生

- (1) 5月10日(日)午後から、消費者大会企画の減災講座に壬生講師と甫立が参加してきました。
  - (2) 7月18日(土)午後で愛知サマーセミナーを申込みました。詳細が決まり次第、報告します。
  - (3) 中東情勢による、資材価格の上昇や受注停止のメーカーなどの情報を話し合いました。
  - (4) 建築基準法の改正などについての仕事での経験や意見交流、勉強会を開催しようと思います。
  - (5) 皆さまから企画・見学会案を募集します。楽しく勉強と交流のできる企画をつくりませんか？
- 今後の幹事会は、6/17(水)、7/15(水)、8/19(水)午後7時で日程の確認をしました。



### ■ 建築とまちづくりセミナーin埼玉 予告

- ・開催日時：10月3日(土)～4日(日)
- ・開催会場：埼玉会館(会場の最寄り駅は、浦和駅です)
- ・全体スケジュール：
  - 10月3日(土) 11時から プレ企画 埼玉会館見学
  - 12時から 受付、13時から 開校式、ガイダンス
  - 13時15分から ポスターセッション「さいたま百景」について：三浦匡史氏
  - ・第一講座：古里 実氏 浦和の「建築とまち」の魅力と課題
  - ・第二講座：藤井 美登利氏 埼玉の「絹の道」をめぐる
  - ・第三講座：高橋 浩志郎氏 「顔の見える経済循環」を創出する、ベッタウン型リノベーションのまちづくり
  - ・その後、ガイダンス、交流会、翌日のスケジュールについて
  - ・懇親会：1階レストラン「ビストロやま」
  - 10月4日(日)
  - ・第四講座：講師依頼、調整中
  - ・第五講座：講師依頼、調整中
  - ・見学コース 浦和コース、草加コース、川越コースを予定しています。

※全体の細かい詳細などは、新建本部や埼玉支部からの公式発表をお待ちください。

※宿泊などは、公共交通機関とホテルなどのパックがお値打ちだと聞いています。



### ■ 愛知支部事務局・財政からのお願い

新建会費『2026年前期分』まで未納の方には、5月下旬にメールで請求をお送りしています。

2025年後期末未納の方には、2026年前期分と合わせて請求させて頂いています。

新建会費は、前納制となっていますのでご協力よろしくお願ひします。

※ 振込手数料は、各自でご負担をお願いします。